

感染状況・医療提供体制の分析(12月14日時点)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (12月7日時点)	現在の数値 (12月14日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数 (人口10万人当たり)	総数	12166人 (648.2人)	16057人 (855.5人)	→	レベル5. 感染が広範囲に拡大しており最大限の警戒が必要 新規陽性者は <u>人口10万人当たり856人</u> と増加幅が急に大きくなった。医療機関・高齢者施設でのクラスターが多発。新規陽性者数は、全国的にも増加傾向。今後も、免疫の減衰、社会経済活動の活発化、新たな変異株による感染者数の動向に注意が必要。季節性インフルエンザも増加しており、感染対策と同時流行を見据えたワクチン接種や抗原検査キット購入などの備えが必要。
		60歳以上 (総数に占める割合)	2189人 (18%)	2822人 (18%)	→	
	②保健所別 新規陽性者数	岡山市保健所	3948人	5467人	→	
		倉敷市保健所	3037人	3777人	→	
		備前保健所	1020人	1237人	→	
		備中保健所	1628人	2162人	→	
		備北保健所	476人	704人	→	
		真庭保健所	537人	529人	→	
		美作保健所	1174人	1568人	→	
その他	346人	613人	→			
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	313人 (52%)	316人 (53%)	→	レベル4. 体制が逼迫していると思われる	
	④宿泊療養者数	133人	143人	→	感染者数の増加を受け、入院患者数が増加傾向。医療機関でのクラスター、医療従事者の感染や濃厚接触による自宅待機も増加し、通常医療を制限する医療機関もあり、医療提供体制への負荷が確実に増している。	
	⑤自宅療養者数	11291人	14574人	→		
	⑥重症者数	7人	6人	→		